

○仙台・宮城北部森林管理署の「製品生産事業現地検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

平成29年8月1日(火)に宮城北部森林管理署管内の上沢山国有林で開催された現地検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

この日は宮城県の一部では雨が降っていたようですが、現地は曇りがちで蒸し暑い天候のなか、仙台署と宮城北部署の関係者60名以上による盛大な検討会でした。

会場は登米市東和町の国有林でスギを主体とした製品生産請負事業の土場で、まずはスギ3本の全幹材の採材について検討した後、それぞれ一本毎に採材の考え方等について意見交換を行いました。次に森林作業道の作設について、丸太を利用した横断溝作設の実演を交えた検討会を行いました。

青森事務所からは最近の販売状況を踏まえた採材の指導及び情報提供と、森林作業道作設の注意点を説明し、最後に労働災害対策を含めた講評をさせていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

全 景



採材検討



森林作業道作設

